

# MINAMATA



## みなまた 市議会だより

第70号

平成28年10月15日

編集 みなまた市議会  
だより編集委員会

発行 水俣市議会  
電話61-1661

<http://www.city.minamata.lg.jp>

E-mail:gikai@city.

minamata.lg.jp



第1回アウトリガーカヌーレース「ワダツミ杯」が開催されました

9月11日湯の児海水浴場にて

# 9月定例会の報告

## 可決された補正予算・条例など

【平成28年度会計別補正予算】

(千円)

会計名	補正額	補正後の額
一般会計	243,212	15,888,133
国民健康保険	▲1,661	4,915,558
介護保険	45,309	3,404,816
水道事業（収益的支出）	1,083	360,386
水道事業（資本的支出）	698	419,464

### 《現行の条例改正》

●水俣市公民館条例の一部を改正する条例の制定について

市庁舎の機能移転に伴い、教育委員会事務局を公民館分館に移転したため、規定を改正したものです。

●水俣市個人番号の利用及び特定個人情報の提供に関する条例の一部を改正する条例の制定について

条例で定める事務（地域生活支援事業に関する事務や医療費助成に関する事務等）を新たに定めたものです。

### 《人事》

●教育委員会委員を任命

堀 浄信氏（平町）再任

### 《特別委員会》

●一般会計決算特別委員会を設置

所管事項	正副委員長	委員		
平成27年度水俣市一般会計決算認定について	(委員長) 谷口 明弘	田中 睦	松本 和幸	野中 重男
	(副委員長) 藤本 寿子	田口 憲雄	岩阪 雅文	

◎議会運営委員を新たに1名選任

岩阪雅文議員（旧：政風クラブ）が政進クラブ（3→4名）として活動することになり、それに伴い中村幸治議員を議会運営委員に選任（5→6名）しました。

### 《継続審査》

●陳第3号

若者も高齢者も安心できる年金制度の実現を求める陳情について

●陳第5号

原発避難計画策定委員会の設置を求める陳情について

**意見書 1 件を可決** 平成28年度第3回定例会（9月議会）本会議において全会一致で承認し、政府に提出しました。（抜粋）

**「鉄道安全・安定輸送」及び「地域を支える鉄道の発展」を求める意見書**

1. 鉄道事業各社の経営自立に向けた、安定的な運営と地域交通や鉄道ネットワークの維持・発展に資する所要の措置を図ること。
2. 自然災害の多頻度化・大規模化を踏まえ、これによって発生する鉄道施設・設備の被害からの復旧に向けた支援スキームの拡充を図ること。
3. 国・地方自治体による治山・治水対策の拡充・強化と、鉄道防災・予防保全の支援スキームの拡充を図ること。
4. 老朽化が進む鉄道在来線構造物の大規模改修に向けた支援スキームの確立を図ること。
5. 鉄道事業各社の鉄道用車両に対する固定資産税を非課税とすること。

**附帯決議** 総務産業常任委員会において、補正予算の一部に関する執行部から議会への説明不足等を指摘する意見が出たため、議案の採決にあたり全会一致で、委員会の要望として附帯決議を添えました。（抜粋）

**平成28年度水俣市一般会計補正予算（第6号）に対する附帯決議**

みなまた環境アカデミアの補助金の不正処理問題について

契約相手先からの委託料の返還：国・県への補助金の返還及び職員研修の実施にあたっては以下の事項を付するものとする。

（1）国、県への補助金の返還には加算金が発生するため、その執行状況について注視する必要があることから、本問題の発覚後、契約先である事業者及び国、県と、これまでいつ、どのような協議が行われ、今後どのようなスケジュールで手続きが行われるのか整理し、議会に提出及び報告を行うこと。

また、その執行後は報告を行うこと。

（2）現在行われている職員への聞き取り調査について、最終結果に基づく検証及び今後の再発防止の計画について整理し、議会に提出及び報告を行うこと。

（3）今後の職員への研修については、その内容、対象者、講師について、効果的な研修となるよう慎重な検討を行うこと。

# 主なもの

## ○農道中尾山線防護整備工事

223万円

中尾山農免道路の一部区間において隣接地の山林伐採により車両通行が危険な状態になっているため、ガードレールを設置します。



農道中尾山線

## ○農業施設災害復旧工事

1,089万円

6月19日からの梅雨前線豪雨に伴う農道、農地の石積崩壊の復旧に要する工事費です。

## ○林業施設災害復旧工事

910万円

4月16日の熊本地震、6月19日からの梅雨前線豪雨、7月10日の豪雨に伴う林道倉谷上小場線の路肩、石積崩壊の復旧に要する工事費です。

## ○姉妹都市交流事業補助金

148万円

来年でデボンポート市との姉妹都市締結が20周年になります。スーパーグローバルハイスクールの指定を受けた水俣高校生を渡航させるための費用となります。

## ○議会費

853万円

仮庁舎移転に伴い、もやい館で本会議を行うため、新たに可動式の音響・録音設備の導入や議会中継設備の移設等を行います。

## ○仮庁舎駐車場施工工事

2,334万円

仮庁舎に隣接する第一小学校グラウンドの一部や近隣の市有地を駐車場として舗装するとともにフェンスを設置します。

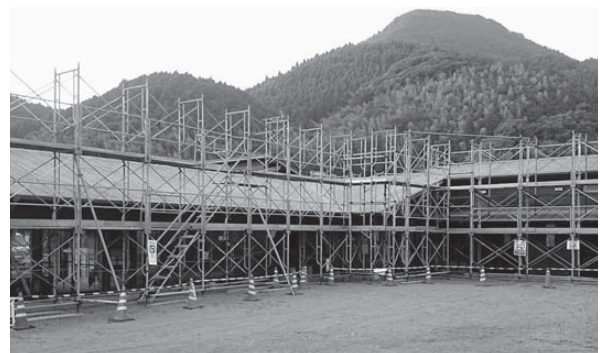


仮庁舎建設地及び駐車場

## ○東部センター屋根部分断熱敷設工事

415万円

現在、ガルバリウム鋼板への屋根の取替え工事中であるが、あわせて断熱効果を高め快適な室内空間及び避難所機能を確保する目的で追加工事を行います。



現在工事中の東部センター

## ○移動式ミラー購入費

34万円

庁舎機能移転のため、公民館別館で行われていた市民サークル活動を公民館に移しました。これに伴い必要となった備品です。

# 補正予算の

## ○袋中学校樹木等伐採業務委託料

416万円

自然災害等で発生した倒木等処理するための委託料です。

## ○地域介護福祉空間整備等補助金

370万円

介護職員の身体的負担を軽減する補助器具（マッスルスーツ等）を購入するための補助金です。補助対象は4施設です。



マッスルスーツ

## ○放課後児童クラブ環境改善整備推進事業補助金

100万円

西方寺学童クラブ及び中央学童クラブに対し、事務作業を簡略化するためのICT関連機器導入を補助します。

## ○医療・介護人材確保に係る調査業務委託料

335万円

水俣市内の医療・介護施設における看護師・介護士不足解消のため、看護大学誘致の有効性及び実現性を調査する。あわせて、定住促進、働きやすい社会環境の整備等をアンケート等の手法によって調査するための委託料です。

## ○プレミアム飲食券発行事業委託料

5,863万円

熊本地震により、4月から5月以降にかけて飲食店等の売り上げが減少しました。そのため市民参加型の賑わい作りと飲食店等を支援するため、10,000円の飲食券に20%のプレミアムをつけて販売を行います。

## ○西浦地区浮消波堤改修工事

913万円

平成18年度に設置した浮消波堤が老朽化し、アンカーチェーン等が破損し危険な状態になっているため、修繕するものです。



西浦地区浮消波堤

## ○水道局仮庁舎移転費用

108万円

現庁舎横にある元教育委員会棟に水道局が移転する費用です。

## ○植栽業務委託料

1,710万円

久木野小学校の学校林倒木伐採後の植林業務委託料です。

# 常任委員会の報告

\*各常任委員会で交わされた主な質疑の内容です。

## 総務産業

### ●肥薩おれんじ鉄道の水俣駅舎問題について

**質疑**—駅舎の開館の延長に伴い、閉館時間は何時になるのか、その際駅舎内の待合室とトイレは利用はできるのか。

**答弁**—閉館時間は現在の午後8時から午後11時30分となる。その際の利用可能はスペースはコンコースとなっているが、駅舎内の待合室とトイレについても今後協議したい。

**質疑**—開館時間の延長に伴う費用について、本来管理者である肥薩おれんじ鉄道が負担すべきではないか

**答弁**—今回は、市民の利便性向上を優先して予算を計上した。今後は管理責任者とねばり強く協議していきたい。

### ●東部センターの屋根部分の断熱敷設工事について

**質疑**—現在行っている屋根の修繕工事に断熱材は含まれていなかったのか

**答弁**—ガルバリウム鋼板の屋根に取替えるが、設計段階で断熱材の積算が欠落していた。

### ●プレミアム飲食券発行事業について

**質疑**—熊本地震による市内飲食店における売り上げの落ち込みはどの程度であったのか

**答弁**—4月から5月の売り上げが、店舗によって70万円から1,600万円ほどの減少があった。

### ●水俣環境アカデミアの補助金不正処理問題について

**質疑**—事業者からの返還はいつなされるのか、また国、県への返還はいつ行うのか

**答弁**—9月末あるいは10月中旬くらいまでかかると思われる。

**質疑**—国、県への返還期日が延びることで、1日毎に返還加算金がつくが、1日あたりの金額はいくらか

**答弁**—一年間の加算率が10.95%であり1日にして約700円である。

### ◇議第75号において附帯決議を付する

議第75号においては、審議に必要な予算計上の担保となる書類が不足しており、執行部に厳しく指摘した結果、書類が提出された。

今後はこのようなことがないよう、執行部においては審議に必要な資料を十分整備のうえで審議に臨むよう強く求めた。

また、水俣環境アカデミアの補助金の不正処理について、執行部から議会への状況説明の不足等の問題点を指摘する意見が出され、附帯決議を付することとなった。

## 厚生文教

専決処分の報告及び承認1件、補正予算3件、陳情1件（継続審査分）、決算認定4件

### ●専決処分 議第65号水俣市公民館条例の一部を改正する条例の制定について

平成28年熊本地震において被災した庁舎の機能移転に伴い、教育委員会事務局の執務室を公民館分館の一部に移転。

**質疑**—今回の移転で施設利用者からの苦情や業務に不都合等はないのか。

**答弁**—施設管理者からも利用者に十分な説明が行われ、現時点では苦情はなく、業務を遂行する上で不都合等はない。

### ●議第67号 平成28年水俣市一般会計補正予算第5号付託分

**質疑**—地域介護・福祉空間整備等補助金の具体的内容はどうか。

**答弁**—市内4カ所の介護事業所に介護ロボット導入促進事業として、介護者等の身体的負担を軽減するマッスルスーツ等の購入の際の費用の一部としている。

**質疑**—医療、介護人材確保に係る調査事務の具体的内容と調査の終了予定についてはどうか。

**答弁**—看護学校誘致の可能性や看護師、介護士等の定住促進のためのソフト対策の実現可能性を探る調査を行い、平成29年3月末に調査終了予定である。



# あなたの声を市政に

## 一般質問

9月定例会では、10人の議員が一般質問を行いました。

水俣市は1人70分以内で、1テーマにつき3回まで質問できます。議会だよりでは、スペースの都合上、質問と答弁の一部を掲載しています。

### ●谷口 明弘

1. 水俣環境アカデミアのホームページ作成に係る補助金の不正受給
2. ふるさと納税の進捗状況
3. 東京2020オリンピック・パラリンピックと水俣市の関わり方

### ●中村 幸治

1. 防災
2. 水俣市建築物耐震改修促進計画
3. 肥薩おれんじ鉄道水俣駅の管理

### ●谷口 眞次

1. 市庁舎の機能移転・建て替え
2. 次世代エネルギー推進事業  
(1) 木質バイオマス発電  
(2) 小水力発電
3. 花のまちづくり
4. 水俣川河口臨海部振興構想事業

### ●高岡 朱美

1. 戸建て住宅リフォーム助成制度の利用状況
2. 再生可能エネルギーの地産池消推進
3. 小中学校における暑さ対策

### ●牧下 恭之

1. 防災対策
2. ピロリ菌ABC検査導入
3. 節電対策
4. 母と子どもを守る産前産後ケア及び子育て支援「ネウボラ」

### ●藤本 寿子

1. 水俣市の障がい者がいきいきと安心して暮らす施策
2. 再稼働後の川内原子力発電所
3. 水俣市の小中学校などで施行されている「フッ化物洗口」
4. 病児・病後児保育設置者の公募以降の進捗状況

### ●高岡 利治

1. 水俣環境アカデミアの補助金不正受給処理問題
2. 防災対策

### ●野中 重男

1. 水俣環境アカデミアのホームページ作成の遅れと補助金の不適正な支出を今後を生かす教訓
2. 水俣川河口臨海部、八幡プール群

### ●田中 睦

1. 小学校の運動部活動の社会体育への移行
2. 障がい児の高校進学
3. 市の職員研修

### ●桑原 一知

1. コンプライアンスの徹底
2. エコパーク水俣と隣接施設の活用
3. 未来を担う子ども達への支援

一般質問席

# 水俣環境アカデミア補助金 不正受給処理問題調査中として 納得のいく答弁なし



谷口 明弘 議員

## 水俣環境アカデミア のホームページ作成 に係る補助金の不正 受給について

**問** 今回の事件の詳細な経緯はどうなっていたのか

**答** 平成27年度中に環境省と熊本県から233万2千円の補助金を受けて、水俣環境アカデミアのホームページを作成する事業であったが、庁内関係課との協議に手間取り、準備が整ったのは今年3月中旬だった。その時点で、平成27年度中の事業完了は事実上不

可能になった。しかし、3月末に納期等虚偽の契約書を事業者に送付して、不正に契約を結び、さらにホームページが完成していないにも関わらず、対価の259万2千円を業者に支払ったものである。

**問** 議員への説明や新聞報道では、担当者と当時の課長の2人が関与したとあるが、業者

に対して不正処理に加担させる等、とても担当者と課長だけの権限でできるとは思えない。市長、副市長、部長、あるいは、環境省から出向していたアカデミアの担当職員らは、こ

の事実を全く把握していなかったのか

**答** 現在、庁内で聞き取り調査を行っており、現時点では答えられない。

**問** 関わった職員は処分するとしているが、処分の内容は。また、市長らの管理監督責任

はどうとるのか

**答** 関わった職員の処分については、未だ庁内の聞き取りが終わっていないので、それらが終了後、今月中を目途に懲戒処分を行う予定である。市長自らの責任の取り方も調査終了後、過去の事例に照らして判断したい。

## 東京2020オリンピック・パラリンピックと水俣市の関わり方について

**問** 水俣市も、事前

キャンプ地として名乗りをあげてはどうか

**答** 水俣市もキャンプ

地誘致を希望する旨、

県に回答しており今後

も誘致実現に向けて取り組んでいきたい。

## ふるさと納税の 進捗状況について

**問** 現時点での納税

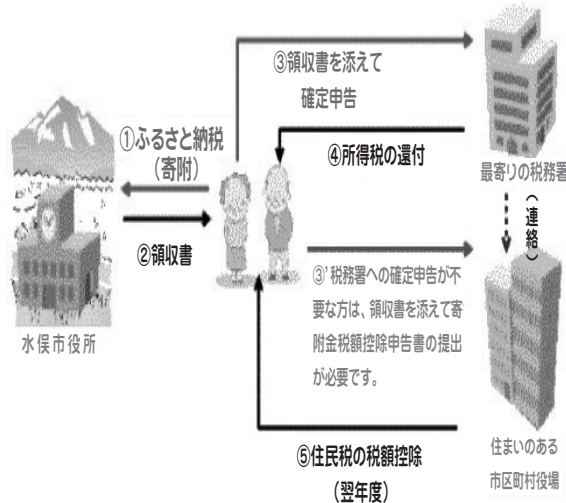
(寄附)金額はどうなっているか。目標額3000万円に対して達成率は何%か

**答** 8月末現在で、285件で556万5千円。目標額に対して18・5%。昨年度の実績は7件。44万5千円なので、寄附金額は前年度比12・5倍に増えている。

**問** 年末に向けて3カ

月が納税額を増やす好機だが、プロジェクトチームを立ち上げて、市報に掲載して市民の協力を仰いだり、広報活動を強化すべきと思うがどうか

**答** 関東地区水俣同郷会等で小冊子を配布したり、議員の提案も参考にPR活動に更に取り組みたい。



ふるさと納税の流れ (市ホームページより)





中村 幸治 議員

# 熊本震災の教訓を活かした防災計画を

## 熊本震災の教訓をどう活かすのか

**問** 熊本震災では飲料水が問題になったが、非常時に水俣市にある井戸を利用できるようにするにはどうか

**答** 水俣市で把握している井戸は200カ所あり、管理は所有者で管理している。いざという時は大変重要だと考えられるので、マップの活用を含め防災体制を整えていきたい。

**問** 熊本震災の教訓として情報提供が問題になったが、長期避難が発生する災害時に、臨

時FM局を開設してはどうか

**答** 市民に情報を流すのに必要な手段と思う。予算的には大きくない形ができる。FM局との協定が必要であるが、今後進めていきたい。

**問** 地域の自主防災組織における備蓄について、市が支援を行い推進するとあるが、地域で備蓄するためのマニュアルはできているのか

**答** 今後、予算を考えたがら導入を検討していく。

**問** 業務継続計画を作成する責任者は誰で、いつ頃を完成予定としているのか

**答** 責任者は市長であり、プロジェクトチームを作って対応していきたい。なるべく早く作成したい。

## 耐震改修工事等の予算増額を

### 水俣市の耐震化補助 (戸建木造住宅)

・昭和56年5月31日以前着工のもの

	耐震診断	耐震補強設計	耐震改修工事	耐震改修工事 監理
補助対象経費	上限12万円	上限30万円	上限160万円	上限15万円
補助金	上限8万円 (2/3補助)	上限20万円 (2/3補助)	上限36.8万円 (23%補助)	上限10万円 (2/3補助)

**問** 住宅耐震診断、耐震補強設計、耐震改修工事の今までの年間予算はいくらか

**答** 平成25年度は630万円、平成26年度は370万円、平成27年度は134万円となっている。

**問** 住宅耐震診断、耐震補強設計、耐震改修

度は、前年度までに比べ、市民からの相談が増えている。来年度もこの状況は続くものと考えられ、本市の目的とする耐震化率を達成するためにも、できる限り助成金の予算確保に努めていきたい。

工事に係る費用の助成金の予算増が必要ではないのか

**答** 熊本震災の影響により、今年

## おれんじ鉄道水俣駅の閉鎖時間は

**問** 水俣駅の入口の閉鎖時間はどうなるのか

**答** 熊本県の立会いのもと、閉鎖時間の延長に伴う応分の負担は水俣市で対応し、延長に伴う水俣駅の管理については、管理責任者である肥薩おれんじ鉄道が行う方向で話をまとめているところである。

**問** 20時以降の待合室トイレ等の利用はできるのか

**答** 今後、協議を重ねていきたい。



# 庁舎・機能移転に伴う財政支援と 駐車場問題は



谷口 眞次 議員

## 庁舎・機能移転 に伴う国からの 財政支援は

【問】 一般単独災害事業債（47・5%、87・5%）で、熊本地震の特例として行政機能の強化に係る増床部分まで起債対象に認められると聞くが、水俣市は何%の交付税措置が見込まれるか

【答】 本市の新庁舎の建設が「一般単独災害復旧事業債」の対象として認められる場合、交付税算出のルールに基づき、試算すると、85・5%の措置が認め



現庁舎と水道局棟

られると考えている。

【問】 プレハブへの機能移転に伴い駐車場が減少するが代替地はどうか

【答】 牧ノ内医師住宅跡地20台、市営住宅牧ノ内に69台、計90台分と、建設地に隣接する第一小学校運動場の一部の使用をお願いしている。ほかに、もやい館に勤務している関係団体や職員駐車場として、牧ノ内の母子寮跡地を整備する。

## 花のまちづくりに ついて

【問】 交流人口の拡大や機運醸成のために、市民と協働して花と緑のまちづくりを推進していく必要があるがどうか。花の苗の配布等支援はできないか

【答】 今後、事業者に限らず、植えていただける団体等を対象に配布し、花と緑のまちづくりに努めたい。

【問】 公園の管理等は、アドプト団体に協力いただきながら課題や提案を把握するため、団体相互の意見交換の場



新水俣駅前の花壇

## 水俣川河口臨海部振興 構想事業について

【問】 団体の強化や新規の参入推進は必要で、が必要だがいかかがか

【答】 団体の強化や新規の参入推進は必要で、各団体と積極的に意見交換をしながら支援策を検討する。

【問】 有利な補助事業の  
目途はついたか

【答】 今年度実施する環境影響調査、地質調査、測量設計業務は、「環境首都水俣・芦北創造事業」を活用する。補助率は、国8割、県1割、市が1割。今後の事業費についても引き続き有利な補助等の活用を努める。

【問】 総事業費や八幡プールの対策と今後のスケジュールは

【答】 総事業費は20億円程度。八幡プールについては、専門家や市民を交え慎重に対応していく。来年夏までに、環境アセスの報告をまとめ、工事はできる限り地元企業にお願いしたい。埋め立て免許の取得を平成30年度までを目指し、着手から完了までは5年の期間を予定。護岸補強は、平成29年度実施設計、平成30年度から2、3年の工期を考えている。



水俣川河口埋立予定地



高岡 朱美 議員

# 対策なしでは世界の平均気温は4度上昇 これからの温暖化対策はよりシビアに

## 再生可能エネルギーのさらなる 推進を目指して

再生可能エネルギーのさらなる推進を目指して

水俣の温室効果ガス削減状況は

基準年度比26・3%削減できており、国の目標を上回っている。

国連の取り決めでは今世紀末までに温室効果ガス排出をゼロにすることになっている。それでも地球の平均気温は2度、何も手を打たなければ4度上昇すると予想されている。それに対し国の削減目標は低すぎる。

CO2を排出しないエネルギー技術が数多く開発されてきている。雑草や下水処理場の汚泥などからバイオエタノールを生成し、電気をつくる技術も実用化されている。研究チームをつくって新庁舎に使うエネルギーのことや、温暖化防止に向けたプランを真剣に探究して欲しいと思うがどうか

情報はいろいろ入ってきているので検討していきたい。



水俣産バイオディーゼルで動くフォークリフト

## 戸建て住宅リフォーム制度を より効果のあるものに

今年2回目となった戸建て住宅リフォーム助成事業の利用状況と成果はどうだったか

1億3千万円の工事が発生し、効果は補助金額の7倍だった。

天草や人吉では補正予算を組んで、希望者にはすべて対応しており、また補助金を商

品券で還付し、地元経済へのさらなる波及を図っている。水俣でもやれないか

昨年より増額しており補正は考えていない。商品券は良いアイデアだが、今の予算規模では費用対効果はあまり期待できない。

## 小中学校の暑さ対策早急に

小中学校の教室が大変な暑さになっている。最高でどれくらいになっているか

7月の全校の平均が28度で、山間部は27・4度、市内の学校は28・3度だった。

それは朝の涼しい時間帯の温度で、午後になると33度から35度になる。私の調査では4校の平均だが、昨年より2・5度も上がっており、現場は熱中症

対策に大変気を遣っている。エアコン設置を急ぐべきではないか

必要性は感じている。財源確保を図りながら、まずは図書室から順番に進めたい。

来年はもっと状況は悪化する可能性がある。他の事業を後回しにしても早急に対応が必要と思う。まずは自身が現場に行ってみて欲しい。

そうしたい。



# ピロリ菌検査導入で 胃がんは撲滅できる



牧下 恭之 議員

## ピロリ菌ABC 検査導入に ついて

**問** 胃がん検診率と課題は

**答** 平成27年度は8・7%と低く、年々低下傾向で目標40%には及ばない状況である。受診率向上は大きな課題である。

**問** ピロリ菌ABC検査で受診率も増え、命も守れると思うがどうか

**答** 臨床結果等の科学的根拠、検査後の胃内視鏡検査の受け入れ体制、精密未受診者対策、財源確保等、国の動向

を注視しながら検討したい。

**問** がん教育の認識はどうか

**答** 児童生徒は病気を正しく理解し、生活習慣病の見直し、自他の健康と命の大切さを考える機会として重要であると認識している。

## 節電対策に ついて

**問** 自治会設置のLED防犯灯の補助の現状はどうか

**答** 自治会等の申し込み状況等を踏まえ、予算の増額を図ってきた。防犯灯のLED化推進に努力していく。



防犯灯

## 防災対策

**問** 家庭の照明LED化補助をさらなる充実した事業にするべきだと思うがどうか

**答** 情勢に応じた形で継続・拡充を検討したい。

**問** 被災者支援システムの稼働を

**答** 有効性は十分認識している。テスト的に運用し、その結果を踏まえて、導入を検討したい。

**問** 避難者行動要支援者名簿は、平常時に民生委員、自治会、自主防災組織等に提供し、非常時に備えるには、要支援者本人の同意が必要だがどうか

**答** 広報誌等にて市民に周知し、本人の同意を確認して、具体的な支援の個別計画の策定に取り組む。

【被災者支援システム】住民基本台帳データをベースに、被災者台帳を基に、罹災証明の発行、支援金や義援金の交付、救援物資の管理、仮設住宅の入退居等被災者支援に必要な情報を一元的に管理。

## 母と子どもを守る産前産後 ケア「ネウボラ」について

**問** 子育て世代包括支援センターの状況はどうか

**答** 日本版ネウボラは妊娠期から子育て期の切れ目のない支援提供を目的に全国展開を目指している。類似の事業を実施しているが、関係機関と一体的なサービス提供に協議が必要だ。

**問** 予防接種スケジュール管理システム



もやい館（福祉避難所）



**問** きずなメール配信の導入は

**答** 予防接種は年々接種するワクチンの種類が増え、接種方法も複雑になっている。医療機関や福祉課等関係機関と連携を図り、全戸配布等直接住民に接する形で、きめ細かい対応に努める。



藤本 寿子 議員

# 障がい者がいきいきと 安心して暮らす施策を

## 水俣市の障がい者がいきいきと 安心して暮らす施策について

**問** 災害時に障がい者が避難できる場所は、整備されてきているか  
**答** 福祉避難所として「もやい館」を指定している。  
**問** 障がい者差別解消法にあるよう、災害時でも一般の避難所でも平等に扱われるべきと思う。今後、避難要綱を作つて欲しいという国への要望について、どのように思うか  
**答** 情報収集をする。  
**問** 障がい者の働く場として最低賃金を意識



ほっとはうすでの作業風景

した雇用形態が増えていくが、市としてはどのように思うか  
**答** 可能であれば、その方向が望ましい。  
**問** 他事業者との連携で、仕事の面での充実ができるよう進めてもらいたい  
**答** 進めていく。  
**問** 学校教育のなかで障がいのある子どもとない子どもの触れあいを多くするため、必要であれば「支援員」を増やして欲しいと思うか  
**答** 調査し検討する。

## 再稼働後の川内 原子力発電所について

**問** 新鹿児島県知事の原発に対する公約は  
**答** 熊本地震の影響を考慮し、川内原発を停止して、施設の点検と避難計画の見直しを行う。原子力検討委員会を県庁内に恒久的に設置し諸問題に対応する。  
**問** 水俣市の避難者受け入れ等、現状を伝えるため三反園知事と意見交換をしてはと思うか  
**答** 国等が関与しないと実効性のある受け入れや避難は困難である。知事とは意見交換しない。  
**問** いつ事故が起こるかかわからない。市で避難計画を作つて欲しいか  
**答** 国が主体的に関与しないとできない。



## 病児・病後児保育 所設置者の公募以 降の進捗状況は

**問** 設置者の予定は  
**答** 社会福祉法人「光明童園」に決まった。  
**問** 医療関係者との連携は  
**答** 日常の医療面での指導、助言を谷山医院とし、緊急時の受け入れ機関として医療センターと協定を結んだ。  
**問** 登録と開所は  
**答** 9月15日から登録開始、開所は10月1日。  
**問** 市民への周知徹底をお願いしたいが  
**答** 市報や様々な形でするつもりだ。  
**問** 洗口状況の調査は行ったのか  
**答** 正式な調査は行っていない。  
**問** フツ化物洗口は子どもの健康に影響がある。洗口液の「添付書」を配布するべきと思うか  
**答** 今後、どのようにするか検討する。

## 小中学校で施行 されているフツ 化物洗口



平町通りに設置された

# 水俣環境アカデミア補助金 不正受給処理問題発覚



高岡 利治 議員

## 水俣環境アカデミア 補助金不正受給処理 問題について

**問** 不正処理が発覚した原因と時系列的流れは

**答** 平成27年10月頃ホームページ作成委託業務契約の準備に着手、庁内関係部署との協議、業者からの見積りの聴取等行ったが、関係課との調整が整わず、準備が整ったのは本年3月中旬であった。この時点で平成27年度中の事業完了は事実上不可能となっていた。にもかかわらず、3月末に契約書を事業者へ送付

し契約を依頼した。さらに、ホームページができていないにもかかわらず、事業が完了したとの竣工認定を行い、本年5月19日委託業者の対価として259万2千円を業者に支払った。また、熊本県には本年委託業務が3月11日までに完了したものととして実績報告を行い、補助金233万2千円の交付を受けた。その後7月14日、環境アカデミア職員からホームページが出来ていない旨の報告がなされ、今回の事態が発覚した。

**問** 不正に支出した業者に対するペナルティー等どのような措置をとる考えか

**答** 契約期間が過ぎている契約を締結し、業務が完了していないのに代金を受け取ったという事実があり、この点は嚴重に注意した。

しかし、不適切な契約は市側から持ち掛けたもので、委託料の請求も市側から依頼したという事情もあり、現在のところはペナルティー等を課すことは考えていない。

**問** 市長は今回の問題をどのように捉え、どういう責任を取る考えか

**答** 今回の問題を大変強く受け止めている。関係者の皆様に心からお詫び申し上げたい。関係職員及び管理監督者については、所定の手続きを経て処分を検討したい。私自身の責任の取り方についても、過去の事例に照らして判断したい。



水俣環境アカデミア

## 防災対策について

**問** 地域防災マネジャー制度とはどのようなものか

**答** 近年全国各地で頻発する豪雨災害や土砂災害、首都直下型地震等に対応するため、元自衛官などの防災の専門的知識を有する外部の人材を「防災監」や「危機管理監」として採用・配置することを目的とした制度である。

**問** 本市において、この制度に対する認識をどのように持っているか

**答** 防災の専門的知見を有する地域防災マネジャーの確保ができれば、災害時における円滑な災害応急対応及び復旧・復興に資すると考えている。今後は本市でも活用できないかを検討していきたい。



防災訓練の様子



野中 重男 議員

# 八幡プール群の護岸工事は有機水銀化合物排出者のチツソ、国、県で行うべき

## 八幡プール群は水俣病拡大の汚染源

問 八幡第1と第2プールの護岸は海と川に面している。この護岸に面した道路用地はチツソが平成14年に水俣市に寄付したものである。この道路用地と



を私は埋立地と主張しているが県は否定している。その根拠は示されたのか。また、この土地はプールから分筆されて道路用地になって

## 道路部分は埋立地。廃掃法違反でありチツソに返還を

問 結局この道路用地は元々埋立地であったことを県も認めている。だとすれば、埋め立て地の譲渡は廃棄物の処理及び清掃に関する法律に違反する。

答 名前が変わっているから埋め立て地ではないという理屈は通用しない。県の判断でいいのか水俣市は独自に検討すべきではないか

問 専門家と相談する。

答 また、この土地をチツソに返還することは法律上は可能である。なぜなら第1にこの寄付は水俣市に管理補修義務を負わせており負担付贈与である。第2に今回の地震で護岸が崩壊し、有機水銀化合物が漏出する危険が顕在化し、そのために管理費用が通常の費用を上回っている。これは「隠された瑕疵」にあたる。第3に道路は護岸が危険だったために市道として供用されておらず贈与契約の恩恵は受けていない。よって本件贈与契約は1年以内なら解除できると弁護士は言っているがどうか

## 八幡プール群の護岸工事などはチツソ、国、県で行うべき

問 水俣湾公害防止事業でもチツソ、国、県で費用を出した。このプール群も最高裁判事事件判決にあるように

内容物は一緒に汚染源である。

日本共産党の田村衆議院議員が八幡プール群の調査に来て、その後国会に帰り環境省等呼んで考えを聞いている。

環境省は負担する用意はあるが条件がある。それはチツソが負担に参加することだと言っている。3者と協議すべきである

答 護岸補強、廃土の処理、道路の確保のために国、県等と相談していく。



護岸状況

# 障がい児の通学支援 ニーズ調査を実施



田中 陸 議員

## 小学校の部活 動が社会体育 へ移行

**問** 社会体育への移行の経緯とねらいは何か  
**答** 少子化による部員数の不足、児童・保護者のニーズの多様化等の問題がある。それに対応し、地域の教育力を活用して、安定したスポーツ環境を確保するため、県の基本方針が策定された。

**問** 移行へのスケジュールは  
**答** 8月末に第1回検討委員会を開いた。今



部活動の様子

後は月1回開きたい。10月に、学校及び保護者向けのアンケート調査を予定している。

**問** 検討すべき課題は  
**答** 送迎や活動費等、保護者の負担が伴わないよう検討する。指導者の確保については、体育関係者の理解と、地域の掘り起こしが重要である。

## 障がい児の高校進学について



芦北支援学校 佐敷分教室

**問** 水俣市の障がい児の高校への進学状況は  
**答** 最近3年間は、特別支援学級に在籍した生徒全員が、支援学校高等部や水俣高校に進学している。

**問** 芦北支援学校佐敷分教室への通学支援サービスには何かがあるか  
**答** 県が支給する特殊教育就学奨励費による助成金がある。市の外出支援事業、移送サービス事業があるが、現行制度では対応できない。

**問** 分教室からのスクールバス運用や、水俣高校への分教室設置を望む声がある。見解は  
**答** 県教委への要望等も含め、市でできることについては市教委とも協議しながら、まずはニーズ調査を実施し、現状を把握したうえで、他市町村の状況を参考にしながら、何が対応できるのか、送迎等のサービスの可能性について検討したい。

## 水俣病問題の 職員研修を

**問** 市の施設の見学者に対して、職員から水俣病に関して不適切な発言があった。市職員だけでなく、指定管理者にも水俣病問題の研修が必要ではないか  
**答** そういった発言があったことは本当に遺憾である。指定管理者については、法人・団体で実施すべきと考える。市からも、誤った情報等を発信しないよう、指定管理者に研修の実施をお願いしている。市の職員については、水俣芦北地区人権教育研究大会には、職員研修の一環としての参加を依頼している。





桑原 一知 議員

# 事業の進捗管理を徹底し 市民に信頼される行政へ

## コンプライア ンスの徹底

**問** 水俣環境アカデミアのホームページ作成委託事業で、不正予算処理が発覚したが、原因は何か

**答** 事業の進捗管理が徹底されていなかった事や事務処理、会計処理の基本的なルールを疎かにする等、コンプライアンスに関する意識の低下があった。また事業を完遂したいという思いもあり、これらが相まって、このような事態を招いたと考える。

**問** コンプライアンス研修を実施するという事だが対象者は

**答** 全職員を予定している。

**問** 仕事の在り方やP D C A サイクル、「報告、連絡、相談」等が疎かになっているために、このような不正が起こるのではないか。

**答** 今後はどのように取組み、徹底していくのか

**答** 進捗管理の徹底や研修を実施し、再発防止に努めたい。

## エコパーク水俣と隣接施設の活用

**問** エコパーク水俣と隣接施設を活用した、観光振興はどのように進めるのか

**答** エコパーク水俣と隣接する施設等連携し、湯の児温泉、湯の鶴温泉と同様に、本市の観光拠点としても位置づけて、春と秋のローズ

## 子ども達への支援は重要

**問** 社会体育に移行が進む中、子ども達のニーズの多様化に対して、どのように対応していくのか

**答** 競技力の向上を目的とするのか、またはスポーツを楽しむ事が目的なのか、子ども達のニーズを把握した上で、今後は検討委員会で協議し方針を決めたい。

**問** フェスタ等のイベントの開催、スポーツ合宿の誘致等により、利用客の増加を図る。また、港湾整備や水俣インターチェンジの供用開始等も視野に入れ交流人口の更なる拡大を図りたい。

**問** クルーズ船のバス

**問** 児童、生徒が水俣市の代表として県大会や全国大会に出場する場合、補助金の増額等検討してはどうか

**答** 現在、一定の基準を設けて補助を行っていているが、近隣の自治体等を参考に、検討していく。

**問** 小中学校の普通教室へのエアコン設置を、市長が先頭に立ち、早急に進めてはどうか

**答** 子ども達の学習環境は、是非とも整えてあげたいと考えている。今後は教育長と共に検討していく。



**問** ツアー客がエコパーク水俣にも立ち寄りられたが、改善策は

**答** 海外からの観光客に対応していくため、外部講師を招き、市内の観光関係者を対象にした勉強会を開催する等、問題点の改善に向けて、受入体制の強化に取り組んでいきたい。

# 議会の主な動き

(H28. 7. 1～9.30)

- 7月12日 庁舎建替等対策特別委員会（庁舎建替に関する活動状況について）
- 7月17日 第61回恋龍祭市民総おどりに議員参加
- 8月5日 議会運営委員会（9月定例会の会期について）
- 各派代表者会議（仮庁舎での議員控え室等について）
- 8月7日 第41回水俣市競り舟大会招待レースに議員団チーム参加
- 8月10日 第13回肥薩4市議会議員研修会
- 8月19日 議会運営委員会（9月定例会の提出議案について）
- 8月24日 庁舎建替等対策特別委員会（庁舎建替に関する現状及び移転後の本会議場について）
- 8月26日 平成28年第3回水俣市議会定例会開会
- 9月2日 各派代表者会議（会派構成の変更による議会運営委員の選任）
- 9月6日～8日 一般質問
- 9月15日 平成28年第3回水俣市議会定例会閉会  
庁舎建替等対策特別委員会（県議会への要望活動について）
- 9月16日 庁舎建替等対策特別委員会として県議会への要望活動
- 9月30日 秋の交通安全週間啓発活動に議員参加



恋龍祭市民総おどり



競り舟大会



県議会へ庁舎建替要望



交通安全啓発活動

市議会ホームページから議会の動画や会議録をご覧いただけます！

水俣市 議会

検索

Q. 市議会の様子を見てみたいけど？

A. 当日の中継や過去の議会も見られます！

水俣市議会ホームページから  
「議会インターネット中継」  
をクリック！



Q. 質問や答弁の内容を調べたいんだけど？

A. 質問や答弁のキーワードで検索できます！

水俣市議会ホームページから  
「水俣市議会会議録検索」  
をクリック！



インターネット中継、会議録検索で不明な点は市議会事務局（TEL61-1661）までお問い合わせください

## 編集後記

水俣市の夏の風物詩「競り舟大会」。今年も地域や職場の名誉をかけて熱戦が繰り広げられました。

決勝レースの前に行われる招待レース。今年は市議会チーム、市長率いる市役所の幹部職員チーム（一新会）、自治会長チームの3艇での戦い。実は毎年、市議会チームと市役所チームとの間で密かに熱い火花が飛び交っています。野球で言えば、巨人vs阪神戦といったところです。結果は自治会長チームが貴塚の1位。スタートダッシュに成功した市議会チームは中盤、市役所チームの追い上げを許しましたが辛くも逃げきり2位でゴール。直近の3年は議会チームの3連勝。ちょっと気をよくしています。

市議会もさまざまな行事に参加しており、これからも続けて参ります。

編集委員（委員は50音順）

- 委員長 谷明弘
- 副委員長 小貴紀
- 委員 桑原一知
- 高岡朱美
- 田中憲雄
- 田中睦
- 中村幸治
- 藤本純
- 上田純

議会事務局員

上田純

みなまた市議会だよりは再生紙を使用しています。

●お問い合わせ  
水俣市議会事務局 〒867-8555 熊本県水俣市庫内1-1-1  
TEL 0966-61-1661 FAX 0966-62-0987